

今回は 白川郷スタディツアー の事業報告です。

◇ 白川郷学園と合掌集落を訪問しました！

日時： 令和3年12月8日（水）10:00～16:00

訪問先： 白川村立白川郷学園 荻町合掌集落

目的： 白川郷学園の皆さんと探究的な学びや地域づくりを通じた交流を行う。
合掌集落の歴史や伝統、産業や生活について現地学ぶ。

参加者： 1・2年次生徒希望者16名

誰もが顔見知りというコミュニティの中で、児童・生徒のみなさんは、地域と関わりながら、「村民学」と呼ばれる特色ある活動をしています。村の課題を子どもたちが自ら発見し、解決に向けた提案を考え、それを村議会に提案する。活動のレベルの高さに驚かされますが、今回、その発表内容を実際に聞かせていただきました。対する関高生も、代表2グループが探究活動の成果を発表し、たがいに質問や意見、提言を出し合いました。発表会のあとは、わずかな時間でしたが、少人数でのグループ交流もできました。

年齢も、住む地域も違う生徒同士が、探究活動を通じ学び合う。おたがいの研究や学校の事情に関し活発な質疑応答が行われ、実りある交流会となりました。

別れを惜しみつつ白川郷学園から荻町の合掌集落に移動し、各自で昼食をとったあと、白川村役場観光振興課の小瀬智之さんの案内で合掌集落を見学しました。世界遺産と地域の暮らしの共存、コロナ禍における観光振興など、様々な問題について考える機会をいただきました。

◇ 生徒の感想

◆今回、オンライン交流に続いて、実際に会って交流が出来たのはとても良い経験になりました。最初の8年生の発表も9年生の発表も、14・15歳とは思えないほど堂々とプレゼンをしていてとても驚きました。特に9年生は、地域活性課、移住推進課、観光地拡大課、自然課に別れてそれぞれ調査の結果とそこから分かることなどを分かりやすくまとめていたし、白川村には高校がないため9年生がトップに立って地域をより良くするための方法を考え議会に提出するというとても大規模な活動を行っていて凄いなと思いました。

お互いに実際交流して学んだことが沢山あるので部活の発表やこれから将来活かして行けたらいいなと思いました。



◆白川郷研修で驚いたことは大きく二つあります。

一つ目は学園の生徒の皆さんの、行動力と主体性です。自分の中学生時代をはるかに凌駕している行動力には驚きました。高校生の前で堂々とプレゼンする力、自分の研究結果に対して誇りを持っている姿、また、何よりも地域に目を向けた活動を楽しんでやるという姿勢には特に感心しました。地域の課題を真摯に受け止めて、自分たちなりの課題解決策を見出すプロセスは、もうすでに、私たちが高校で行っているFRH活動をやっているのではないかと思うほどです。



◆そして白川郷荻町での合掌造りは雪国ならではの特性を生かした建築や、米が作れないことからの養蚕業の発達など、教科書や座学では学べない様々なことを体験しました。暮らしている人の息が感じられる白川郷だからこそ学園の生徒が学べるのだと合掌造りと生徒をつなげて考えられたのが私にとっての大きな収穫です。

◆白川郷学園の生徒のプレゼンを聞いて驚きました。1人1人が堂々と積極的に話していたからです。スライドを使いながら話すのは容易なことではな

いけれど、聞き手を意識した話し方をしているととても聞き取りやすく本当に驚きました。また、人数が少ない学校だからこそより地域との繋がりを深めようと勉強していた姿が印象に残りました。学ぶだけでなく、地域活性化に繋げるために SNS で地域の情報を発信するなどの具体的な行動に移っていて、行動力が備わっているなど感心しました。地域に対する熱い想いや魅力がよく伝わりました。

荻町の合掌集落では、世界遺産白川郷についてよく学びました。インターネットなどで調べるよりも楽しく、また現地の人の話も直接聞くことができ、興味深かったです。白川郷を守るために村の皆さんが協力しているのがすごく心に残りました。簡単に家の塗装を変えられなかったり、屋根を変えるのに莫大なお金が必要だったりといった文化遺産を守っていく大変さがあるということも心に残りました。

今はコロナ禍で簡単に旅行に行けないけれど、行けるようになったら多くの人に白川郷の美しさなどの魅力を体験してほしいと思ったし、もう一度私も体験したいと思いました。

◆今回初めてこういった研修に参加してみて、とても楽しかったです。ただ、楽しかっただけではなく、とてもたくさんのお話を学びました。まず白川郷の合掌造りについてはもちろん、白川村の抱える大小様々な問題や観光業について、短期間ではあったけれど密度の濃い時間を過ごせたと思います。

私は白川郷学園の生徒たちの発表を聞いて衝撃を受けました。各々のグループのしっかりとした意見があり、自分たちから動こうという行動力もあり、さらには地域の議会にまで提案をすることができる、そんな様子を見て、未来の白川郷がとても楽しみにになりました。互いに良い刺激をもらったと思うので、関高校と白川郷学園で今後も交流を続けていけたらいいなと思います。

◆白川郷といえば合掌造りという印象がとても強かったので、合掌造りしかないと思っていたけど、実際に白川郷へ行き、色んなものを直接見て、体験すると、合掌造りだけでなく、たくさんの魅力を発見することが出来ました。ただ、やはり合掌造りの貫禄とオーラが凄くて、圧倒されました。

白川郷学園では、中学生のみなさんがともしっかりしていて、自分たちの考えを持っていてすごいと感じました。また、その考えを自分たちの力で実現させる力もすごいと思いました。4つのグループで行なっている取り組みは違ったけど、共通点はみんな白川村をより良くしたいと思っていることだと伝わって来ました。私たちもこれからもっと頑張りたいと思いました。





◆【8年生の発表から】 僕は白川郷学園という存在を、このツアーに参加するまで全く知りませんでした。公立で小中一貫校という珍しいシステムで行く前からとても興味深く思っていました。

僕は教育に関心があります。8年生の発表の中で、三者懇談で親や先生に自分の将来の夢や今後どうしたいかなどをプレゼンするという活動を設けているという発表がありました。その活動をする中で、自分が何をしたいのか、将来を明確に考えて自分を見つめ直すことができるだけでなく、親の理解をより得やすくなる素晴らしい活動だと思います。また、

中学生の内から相手が分かりやすいように伝える力を養えるという点においてもどの学校でも取り入れるべき活動ではないかと思いました。

【9年生の発表から】 白川郷という観光地だからこそその課題や問題点を、自分たちでどうすれば解決できるのか。その具体的な対策まで提案されていて、自分が中学生の時を思い出して恥ずかしくなるほど素晴らしく深く調べられている発表で感銘を受けました。その中でも特に入村税を取るという提案を発表くださったグループの生徒たちに、僕がそれでは観光客の人数が減ってしまうのではないかと質問をすると、むしろそれが狙いであり、オーバーツーリズムの解決に繋がると答えられてすごく納得させられたし、ここまで詳しく調べられているのかと驚きました。他にも SNS を利用した提案や、村だからこそその自然を使った体験施設など、自分の地域や現代のトレンドに適應させた対策を提案されていて純粋にすごいと思いました。

白川郷学園の子どもたちは、みんな先生の助けをほとんど借りず主体的に率先して情熱を持って活動し、しっかりと自分の意見を持ってそれを自分の言葉ではっきりと伝えられる能力を持っている子が多く、目的意識を高く持って行動を起こしていました。この交流を通して、すごく自分の刺激になり、自分もこのような姿を見習わないといけないなど実感しました。自分を見つめ直す良い機会になりました。

【白川郷】 白川郷の合掌造りは初めて見たけれど、こんなにもたくさん軒数があると思っていなかったのが驚いたし、自然豊かな風景が多く見られて良かったです。雨にならないために壁を斜めに作ったり、濡れた木の皮を使って縛るなど、家を守るための先人の知恵がたくさんあって守られていかなければいけないものだと感じました。岐阜県の誇りである合掌造りを知ることができてより岐阜県への愛着が湧きました。

◆7月のオンラインの交流でも、白川郷学園の生徒の課題研究への取り組み方や意識の高さに驚きましたが、今日実際会って交流してみて、さらに素晴らしいなと思いました。白川郷の課題について、生徒全員ひとりひとりに「僕たちの村の課題だから、僕たちで解決策を探そう。」という思いが見られるところが素晴らしいです。人前で話すことが苦手な子どもももちろんいると思いますが、そこで無理だ…と引くのではなく、なんとか伝えよう、そして村や世界をよりよくするために頑張ろうとしていました。人数が多い学校だと、代表者に任せるという場面が多く、なかなか1人の活躍する場が少ないです。白川郷学園は人数が少ないからこそ、ひとりひとりが精一杯できることをして、人数の少なさの不利を感じさせない素晴らしい研究でした。

また人の意見を聞くときは、体を向けうなずきながら聞いていました。素直で他人の意見をちゃんと聞ける力を持っていました。良い研究ができるはずだと思います。

今日、同じ関高校で頑張っているみんな、そして白川郷学園のみなさんの発表を聞いて地域や世界のために、こんなにも考えて行動してくれている人がいるんだと心強い、うれしい

気持ちになりました。僕も続きたいです。白川郷学園のみなさんと生で交流できてよかったです。

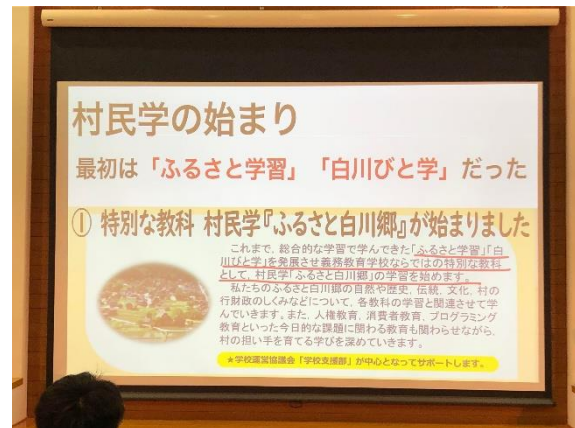
白川郷集落はいつも通り、すごかったです。ありがとうございました。

◆全体の感想としては、白川村について知れたことが本当に良かったです。以前までは、日本の有数の世界遺産として白川村を認知していた程度でしたが、白川郷学園の生徒たちの村紹介や合掌集落の散策を通して、新たな魅力を見つけることができました。

白川学園との交流に関しては、とにかく生徒たちが自主的に課題へ取り組む姿に圧倒された。それは、私たちの発表を聞く姿勢だったり、挙手をして質問をしたり、また発表の内容などから感じられました。特に、私たちの質問に対して、物怖じせず答える姿は、9年間、村についての研究活動を一生懸命に取り組んできたんだと感じるとともに、彼らなら今後の白川村を変えていけるんじゃないかと思いました。そして、今回の交流を通して、私たちが取り組んでいる中学生模擬国連へつなげるならば、やっぱりグローバルな課題と身近な地域の問題は、規模が違うだけで同じような悩みを抱えているんだと改めて実感しました。だから、来年以降の中学生模擬国連は、地域社会によりかかわりの深い議題に設定することで、私たち高校生もそうですが、中学生の方々に世界と地域を関連付けて考えてもらえるような会議にしたいと思いました。

午後の合掌集落見学は、個人的には建物の内部の構造が見られて、とてもうれしかったです。今ある合掌集落は、現地の方々の力によって成り立っているということが素晴らしいと思いました。

今回は本当に貴重な体験ができてよかったです。今後もさらなる発展につながるような活動を継続的に行ってほしいなと思いました。



◆【白川郷学園】 8年生はスライドを上手にを使って学園と村について紹介をしていた。9年生は7月のオンライン交流の時と変わらず積極的な発表をしてくれた。中でも心に残ったのは地域活性課の白川公園の遊具の維持費のために、観光客から入村税を200円とるといったものだ。年間220万人の観光客だと4億円の収入を見込めると話しており、とても驚かされた。彼らのグループは村民も楽しめる村づくりをテーマに活動しており、火を使うことができるスペースを渴望するという白川村独特の事情もあって興味深かった。彼らは「オーバーツーリズム」という単語を使っていることから、日頃から観光業と隣り合わせの生活を送っていることがわかった。私も彼らに対し、「公園にスポーツができるスペースを設けてその場所とスポーツ道具の貸し出しを有料で行えばどうか」と提案させてもらった。

彼らの凄さは村や地域の課題を見つけて学校で取り扱うだけでなく、実際に議会に申し出る場所にあると思う。私も緑中時代、地域の課題などを探したりしていたが、市に提案することはあり得なかったのが少人数で昔から身近に観光と触れ合ってきた白川郷学園の生徒だからこそ可能な活動だと思い、とても勉強になった。

【合掌造り】 去年一度見ているのでざっくりわかっていたが、やはり一つの家に行くための工夫が施されていた。除雪用に傾いた茅葺き屋根、雨水防止のために斜めになっている側



壁、潰した木のつるで結んだ骨組みなど挙げればキリがない。また火事の時にすぐ消化できるように放水銃が至る所に設置してあったり、雪を落とすための水路が張り巡らされていた。

【まとめ】 白川郷学園の生徒は我々高校生に対しても堂々と、そして時にユーモアを交えた大人らしいプレゼンをしていました。私も3月にFRHの全校発表が控えているので、今日の白川郷学園の生徒と関高生の発表の仕方を参考にしたいです。さらに白川郷学園の生徒は関高の発表後の感想で自分たちの共通

点と相違点を絡めて喋っていたり、人とは違う視点で物を見ていたので、それもまた参考にしたいと思いました。

今日はありがとうございました。

◆午前中の交流で中学生とは思えないほどの提案内容や意見ばかりでとても驚いたし、それにわたし自身も刺激を受けた。今まで、「関高校も商品開発までしてホラプロすごい！」というふうに思っていたけど、それ以上のことまで、しかも中学生が自分たちでやっていたすごかった。そう言った体験ができ、いろんな視点から考えられるようになる中学生になって、大人になって社会に出てからも活躍するために必要なことを中学生のうちから学ぶことができるともいいなと思った。

◆今日の白川郷スタディツアーは、白川郷の魅力だけではなく、地域の活性化についても知ることができました。白川郷と言えば、やはり合掌造りの家が最初に浮かびますが、特産の「結旨豚」や豊かな自然など、たくさんの良さがあります。もし今日、白川郷学園の方々に教えていただかなかっただら、一生知らなかったかもしれません。

また、合掌集落は、写真で見るよりも実物を見たほうが迫力がすごかったです。茅葺き屋根や自然には圧倒されました。

今回の経験を通し、いろんな活動に活かしていけるように考えていきたいです。

◆今回は実際に白川郷に訪問して、白川郷学園の皆さんの人柄が改めてすごいなと実感しました。自ら村をよくしたいという気持ちがすごく伝わってきたし、私では思い付かないような提案をしていて、そういう考えもあるんだという学びができました。見習っていかなければいけないほど意欲的だなとも思いました。

村の観光事情についての発表では一石二鳥になる提案があって効率的で素晴らしいと感じ、私もそのような考えの提案ができるように視野や知識を広げていきたいと思います。

合掌集落の見学では、地域研究部のフィールドワークで以前訪れた造り酒屋の建物に、合掌の作りが似ているなど感じました。また古くからの建物は様々な環境の変化に耐えられるような工夫が多く施されており、それを間近でみられて、とても貴重で深い1日を送れたと思います。

